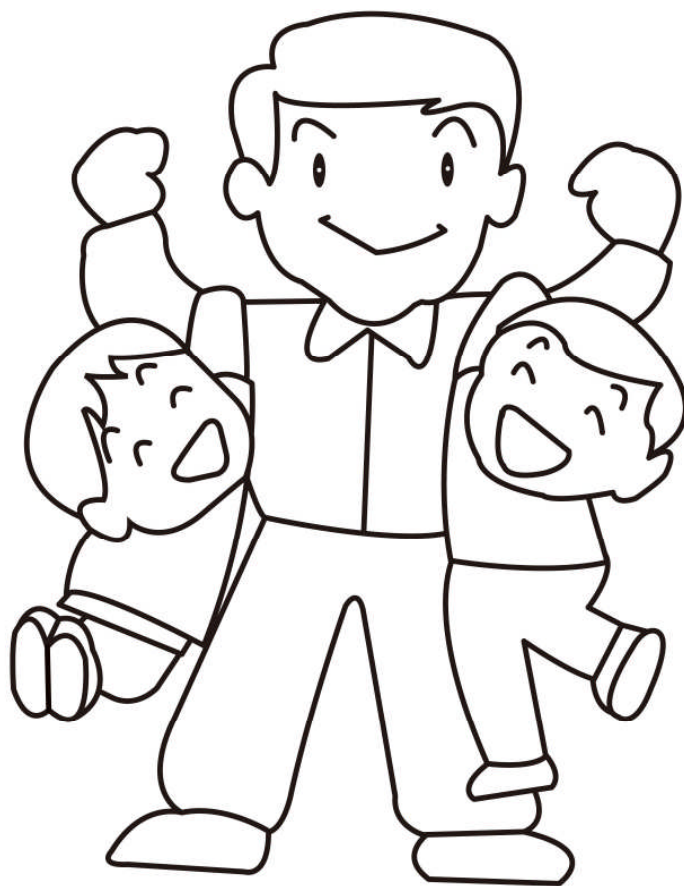


# 生(生きるため)の 健康教育プログラム



福島県会津保健福祉事務所  
(平成21年3月)

# 目 次

はじめに

活用にあたって

幼児編 ..... 1

保護者編 ..... 14

参考資料

① 実態調査関係 ..... 25

② 会津保健福祉事務所及び管内市町村母子保健担当窓口 ..... 66

③ 会津地域子どもたちの生と性のち生きいき推進会議開催の経過 ..... 67

④ 会津地域子どもたちの生と性のち生きいき推進会議構成員 ..... 68

⑤ 会津地域子どもたちの生と性のち生きいき推進会議ワーキング  
グループ構成員 ..... 69

## 《活用にあたって》

生（生きること）の健康教育プログラムの目標は

**「思いやりをもって仲良く遊び、“いのちを大切に”子ども**

を育てることです。

キーワードは

**「思いやり」「仲良し」「いのちの大切さ」・・・この3つです。**

「思いやり」： 生きている動植物をはじめ、家族・友だち・先生など、子どもを取り巻く全てのいのちあるものや、人間に対し思いやることができる。

「仲良し」： 友だちとの遊びを通して、思いやりがはぐくまれ、親しみをもった人とのかかわりができる。

「いのちの大切さ」： 自分自身も自分を取り巻く人や動植物のいのちも、大切に生き方ができる。

---

\*このプログラムは、幼児編、保護者編、参考資料編から成り立っています。

『**幼児編**』・・・このプログラムの目標を達成するために、**6つのねらい**を設けました。

そのねらいの一つ一つについて、**保育者が幼児に対して**具体的に支援、配慮する事項を記載してあります。

『**保護者編**』・・・このプログラムの目標を達成するために、**5つのねらい**を設けました。

そのねらいの一つ一つについて、保護者の行動を記載し、**保育者が保護者の望ましい行動を促す**ために、具体的な支援、配慮する事項を記載してあります。

どちらも、このプログラムの「目標」を達成するため、幼稚園・保育所、家庭、地域の関係者が**連携**して、**子ども自身がたった一つのいのちを大切に思い、自ら健康で他の人々と親しみ支え合って生きていける**ように支援する内容になっております。